

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	介護福祉課(高齢者福祉担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	高齢者バス優待乗車券等交付事業	事業番号	12595

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5	高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち	

2 事務事業の目的

目的	高齢者が増加する中、地域福祉基金の原資を活用し、趣味・学習・仕事を通じて、とじこもりがちな高齢者が気軽に社会参加できる環境整備や世代間交流を推進する。
成果	バス優待乗車券等の交付を通じて、高齢者の外出を支援することによって、孤立や孤独を防ぎ、地域との繋がりの中で生きがいをもって生活できる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
		27	市内路線バス、JR花咲線の優待乗車券交付				
	28	市内路線バス、JR花咲線の優待乗車券交付					
	29	市内路線バス、JR花咲線の優待乗車券交付					
	30	市内路線バス、JR花咲線の優待乗車券交付					
	31	市内路線バス、JR花咲線の優待乗車券交付					

事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費				16,605	16,605	16,605	16,605
内訳	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他			2,000	2,000	2,000	2,000	8,000
	一般財源			14,605	14,605	14,605	14,605	58,420
人員(人工)			0.33	0.33	0.33	0.33		
職員費(人員×8,081千円)			2,667	2,667	2,667	2,667	10,668	
総事業費			19,272	19,272	19,272	19,272	77,088	

維持管理	管理主体						
	運営方法						
	維持管理費	施設維持費					
		概算人件費					
	合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	高齢者バス及びJR優待助成券交付率		50.0%	50.0%
高齢者バス及びJR優待乗車券利用件数		130,000件	155,000件	170,000件

事務事業改善策 (継続事業のみ記入)

平成28年度より継続して事業を実施するため、1乗車につき100円の自己負担としたが目立った問い合わせ等も無く、一定の理解を得ているものと判断できる。
 ただし、乗り換えが必要な路線があり、往復で利用される方は400円の負担となるため、負担軽減について事業所と協議し、改善を目指す。
 利用実績 (1日あたり利用件数) 平成25年度 442件 平成26年度 423件 平成27年度 401件
 平成28年度 289件 (5月末実績)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	元気な高齢者が積極的に社会参加することにより、孤立や孤独を防ぎ、地域との繋がりの中で生きがいをもって生活できる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 超高齢化社会に伴い、外出する際の移動手段としての必要性は高い。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 現行の路線バスを利用した事業である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 移動の際の一つの手段。緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 不特定多数の方が利用できる路線バスを利用しており、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 移動手段を必要とする者を幅広く支援する事業であり、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 移動手段である路線バスを利用し元気な高齢者が積極的に社会参加することにより、孤立や孤独を防ぎ、地域との繋がりの中で生きがいをもって生活できる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 市民ニーズ・利用率等の把握に努め、適正な事業展開を図りたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する アンケート調査を実施し、利用者の声を把握し事業への反映に努めるとともに、今後においても継続する事業として維持を図りたい。

作成年度 平成28年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	介護福祉課(地域包括支援担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	高齢者見守りボランティア事業	事業番号	12613

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5	高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち	

2 事務事業の目的

目的	超高齢社会の到来に伴い、65歳以上のひとり暮らし高齢者や認知症高齢者が増加する中、見守りは自治体にとって喫緊に取り組むべき行政課題であるとともに、住民同士で支え合う「互助の取組」でもある。見守りは、住民、民間事業者、行政等の様々な主体がそれぞれの役割分担のもと、連携して行われることが重要であり、「共に支え合いながら、安心していつまでも住み続けることのできる地域社会の再生」、すなわち「地域包括ケアシステムの構築」へと繋がる。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● ひとり暮らし高齢者等の孤立や孤独を防ぎ、一人ぼっちにさせないことで自立を促す。 ● ご近所による見守り・声かけ・身近な支え合いを通じ、「顔の見える関係づくり」を目指し、地域での繋がりの再構築を行う。 ● 地域住民、民間事業者、行政を含む関係機関等と「官民協働」で高齢者を見守る共助の新たな仕組みづくりを行うことで、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心・安全に暮らせる地域づくりを目指す。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

	年度	概要						
	事務事業の概要	27						
28		市ホームページ、フェイスブックその他の広報媒体を活用した広報活動を展開する。見守りボランティアについて、団体についてはモデル地区3団体、個人については150名を募集する。						
29		平成28年度の概要のとおり。ただし、平成28年度の実施状況を踏まえ、見守りに関わる団体数、個人ボランティア人数を再度検討する。						
30		同上						
31		同上						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費			368	368	368	368	1,472
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他		368	368	368	368	1,472
	一般財源							
人員(人工)			1	1	1	1		
職員費(人員×8,081千円)			8,081	8,081	8,081	8,081	32,324	
総事業費			8,449	8,449	8,449	8,449	33,796	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	高齢者見守りボランティア登録団体数	(未実施)	3団体	3団体
	高齢者見守り個人ボランティア登録人数	(未実施)	150人	150人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	<ul style="list-style-type: none"> ●ひとり暮らし高齢者等の孤立や孤独を防ぎ、一人ぼっちにさせないことで自立を促すことが期待できる。 ●ご近所による見守り・声かけ・身近な支え合いを通じ、「顔の見える関係づくり」による地域での繋がりの再構築が期待できる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 超高齢社会の到来に伴い、65歳以上のひとり暮らし高齢者や認知症高齢者も増加しているため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 地域ぐるみでの見守り体制を構築するために、市が主体となって実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 見守りは、自治体にとって地域包括ケアシステムの一翼を担う重要な施策であり、喫緊に取り組むべき行政課題である。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 地域で暮らす誰もが同じ立場で互いに助け合う関係性の中で見守りが行われることが大切であり、手段として適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 見守りを必要とする高齢者を幅広く支援する取り組みであり、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 住民同士がさりげなく気遣い合い、困ったときに遠慮なく助けを頼める地域づくりが求められている中において、本事業の有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 ボランティア公募などに速やかに取り組むとともに、円滑な事業推進を図りたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 各町会に見守りボランティアの推薦とモデル団体の申請を依頼しているところであり、それぞれ、まとまった段階で説明会及び研修会等を実施し、見守り体制の構築に向け事業展開を図りたい。

作成年度

平成28年度